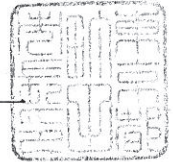


08町建総第164号

2008年10月17日

国土交通省道路局長 様

町田市長 石 阪 丈 一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より、町田市道路行政に対して、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号においてご依頼のありました標記の件について別紙様式のとおり回答しますので、よろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

東京都町田市

○財政が厳しい状況下、重点目標を定め、真に必要な道路整備を促進することは、非常に重要なことだと考えております。その中で、地域のニーズが大きい市町村道の整備促進に有効な政策を打ち出して頂くことを要望します。

- ・市町村道整備への財政的支援の拡充（採択範囲、補助率の拡大）を要望します。

- ・市町村間、都県境を連絡する広域交通処理機能を有する幹線道路等の整備については、財政面等を含めて特例支援をして頂きたい。

- ・国の事業に併せて実施することで、大きな事業効果が期待できる地方自治体事業（近接する都市計画道路の整備等）については、国による地方自治体（都・市）への働きかけ等の積極的な関与と、優先的な支援を要望します。

- ・公共交通の利便性向上に必要な道路整備は、脱マイカーの促進を図り、ＣＯ２の削減等、地球温暖化防止に寄与するので、特例支援を頂きたい。

○その他

- ・近年の大雨により、河川氾濫による道路、家屋の浸水がみられる。河川管理者に対して河川改修の積極的な推進を促し、道路等における被害を抑える政策が必要と考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

東京都町田市

○現状	○課題
1. 当市における都市計画道路の整備率は、平成19年度末現在で55%の状況であり、道路ネットワーク構築の上でも、その整備促進が求められております。 2. 当市の代表的な道路施設は、橋梁約240橋、幹線・準幹線道路延長約140km、4m以上の生活道路延長約650kmです。これら施設は、昭和40年代の高度経済成長期に急速に増加し、点検等の結果から老朽化が進んでいることが確認されております。そのため、今後は、これまで以上に多くの施設に対して手当てを行う必要があります。 3. 当市の無電柱化延長は15.5kmであり、幹線・準幹線道路延長から比較しても無電柱化率11%程度に留まっている。現状では、都市計画道路築造時に併せて無電柱化を行っており、既設道路の無電柱化の着手に至っていない。	1. これから着手すべき路線については、鉄道との立体交差、家屋密集箇所が増加、起伏等の地形的な要素から多額の事業費を要することが予測されます。 2. 当市における土木予算が減少傾向ある中で、老朽化する道路施設は増加し、膨大な維持管理費用が必要となることが予想されます。 3. 無電柱化の事業推進に当たっては、多額の費用と公営企業者の協力が不可欠である。

②-2 地域の目指すべき将来像

東京都町田市

当市が目指す将来像のうち道路行政と係わるものと、それに対する要望を列記します。

1. 地域の経済・産業を活性化させる幹線道路の整備促進

多摩地域における南北幹線道路の整備（多摩都市モノレール予定路線等）は、当地域における南北公共交通の充実を図る上で、必要不可欠です。

国においては、都市基盤の骨格を形成する都市計画道路の着実な整備促進を図るために、財源を確保し、これら事業における積極的な財政的支援を行って頂きたい。

2. 基礎的な公共施設である道路施設の適正管理

当市では、近い将来における予算の集中を回避するため、平成17年度から「道路資産管理計画」の策定に取り組んでおります。これまでに、「基本計画」、「幹線・準幹線道路舗装管理計画」を策定し、平成20年度は、「橋梁管理計画」の策定に取り組んでおります。

この計画は、道路施設の長寿命化を図り、予算の平準化を行うことが目的ですが、その実施に当たっては、当面の間、現在の規模を大きく超えた予算が必要となつてきます。そのため、この計画を着実に実施して行くためには、国の財政的支援が必要と考えております。

平成19年度に国は、長寿命化修繕計画策定事業費補助制度を創設されましたが、今後、橋梁及び道路舗装の長寿命化工事に対する財政的支援についても充実して頂きたい。

3. すぐれた景観を形成するための無電柱化促進

無電柱化事業は、都市の景観向上、通行空間の確保及び防災対策等に効果的な事業であり、当市においても中期経営計画の重点施策として積極的に取り組んで行くこととしております。

当市は、町田駅周辺の中心市街地を始め、都市計画道路等の幹線道路において無電柱化を推進して行きたいと考えているが、これらを着実に進めて行くためには、市町村への補助率拡大や公営企業者側へのインセンティブ付与等による促進も有効かと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

東京都町田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(3) 都市交通の快適性、利便性の向上	・町田市計画道路 3・3・36 号の整備。 ・町田市計画道路 3・4・34 号の整備。	・3・3・36 号は、当市における骨格的道路であり、整備進捗は公共交通施策（基幹バスの整備等）に大きく影響する。 ・3・4・34 号は、当市における環状機能を有する道路であり、中心市街地の渋滞緩和が期待される。	
(5) 水害等の災害に強い国土づくり	・境川の河川改修促進。	・境川の河川改修促進により、近年の大雨による境川の氾濫が減少することが期待できる。（河川管理者：東京都・神奈川県）	
(8) 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・駅周辺におけるバリアフリー化の促進。	・高齢者・障害者から要望の多いバリアフリー化が促進されることにより、移動の自由度が高まる。	
(10) 良好な景観の形成	・無電中化事業の促進。	・良好な景観形成、歩行者空間の拡大及び防災機能の強化が期待できる。	
(14) 計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・維持管理計画の策定とその計画に基づいた維持管理工事の実施。	・道路施設の長寿命化により、維持管理予算の平準化が期待できる。	